

株式会社セイグッド

SDGsの取組

<p>取組・活動内容</p>	<p>株式会社セイグッドでは、生業としている太陽光発電・蓄電池を中心とした再生可能エネルギーの導入・保守メンテナンスをこれまで以上に積極的に行い、企業様・一般家庭様が使用される電気の再エネ化・再エネ継続化・強靱化を支援し、2030年の脱炭素化目標を含めたSDGsの発展に貢献致します。</p>		
	<p>目指すゴール</p>	<p>取組・活動内容とゴールとの関係</p>	<p>目標</p>
<p>経済</p>	<p>9, 11, 12, 13</p>	<p>電気依存社会では、災害時の停電影響が重大である為、停電に強く、電線系統に依存しない環境・町づくりとなる電力マイクログリッドを構築します。ミクロな地域レベルで構築できれば、BCP対策を含めたレジリエンス強化が可能となり、持続可能な社会へと繋がります。</p>	<p>マイクログリッド構築活動 ・2022年～2025年：広報を兼ね、パートナー（自治体、金融機関、民間企業）の構築。 ・2026年～2030年：パートナーと共同し、ミクロのマイクログリッドを最低1つ構築。</p>
<p>社会</p>	<p>7, 12, 13</p>	<p>保守メンテナンスを行う事で自家消費型太陽光発電所（蓄電池含む）は更なる継続が可能となり、固定買取制度（FIT法）を使った太陽光発電所に至っては買取期間終了後でも継続使用が可能となります。また、固定買取制度期間終了後の太陽光発電所は再エネ賦課金問題を踏まえ、安価提供が可能な電源に生まれ変わる為、その存続に貢献します。</p>	<p>太陽光発電所の保守メンテナンス件数目標：40件（2021年度）→400件（2030年度） ※自家消費型・固定買取制度型問わず。</p>
<p>環境</p>	<p>7, 13</p>	<p>自家消費型太陽光発電（蓄電池含む）の導入により、化石燃料由来の電気が発生するCO2の削減が可能となり、温暖化を防ぐ事に繋がります。また、電気代の削減にも繋がります。これらの効果の中から、自家消費型太陽光発電（蓄電池含む）の導入によるCO2削減量をゴール・目標とします。</p>	<p>2022年度CO2削減目標値 →30万kg 2030年CO2削減目標値（累計） →270万kg</p>